

大東亞戦争完遂ノ爲ノ對支威嚇根本方針(御前會議議題)

昭和十七年十二月二十一日決定

外務省

0154

2613

S 1.1.1.0 - 27

第一、方針

一、帝國ハ國民政府ヲ戰ヲ以テ日支間局面打開ノ一大轉機トシ日支提携ノ根本精神ニ則リ專ラ國民政府ノ政治力ヲ強化スルト共ニ重慶抗日ノ根據名目ノ覆滅ヲ圖リ眞ニ更新支那ト一體戰爭完遂ニ邁進ス

二、世界戦局ノ推移ト配合セ米英佛反攻ノ最高潮ニ達スルニ先テ前項方針ニ基ク對支威嚇策ノ實現ヲ圖ル

第二、要項

一、國民政府ノ政治力強化

(1) 帝國ハ國民政府ニ對シ懸メテ干涉ヲ避ケ權力其ノ自發的活動ヲ促進ス

外務省

0155

2614

S 1.1.1.0 - 27

(四) 極力占據地域内ニ於ケル地方の特殊性ヲ調整シ國民政府ノ
 地方政府ニ對スル指導ヲ強化セシム

(イ) 支那ニ於ケル租界、治外法權其ノ他特異ノ諸事類ハ支那ノ
 主權及領土尊重ノ趣旨ニ基キ速ニ之ヲ撤廢乃至調整ヲ圖ル
 九龍租借地ノ廢止ニ關シテハ香港ト併セ別途之ヲ案ム

(ニ) 國民政府ヲシテ不動ノ決意ト信念トヲ以テ各般ニ亘リ自
 ノ途ヲ講ゼンメ廣ク民心ヲ獲得シ特ニ戰爭完遂ノ爲必要ト
 スル生産ノ増強、戰爭目的ニ對スル國民認識ノ普及並ニ治
 安維持ノ強化等ノ確實ナル具現ヲ圖リ戰爭協力ニ徹底遺憾
 ナカフシム

海軍總長將來國民政府ノ充實強化並ニ其ノ對日協力ノ具現等

外務省

0156

S 1.1.1.0 - 27 2615

ニ照應シ適時日華基本條約及附屬諸取極ニ所要ノ修正ヲ加
 フルコトヲ考慮ス

二 經濟政策

(イ) 當面ノ對支經濟政策ハ戰爭完遂上必要トスル物資獲得ノ増
 大ヲ主眼トシ占據地域内ニ於ケル緊要物資ノ重點的開發取
 得並ニ敵方物資ノ積極的獲得ヲ圖ル

(ロ) 經濟政策ノ實行ニ當リテハ越メテ日本側ノ獨占ヲ成ムルト
 共ニ支那側國民ノ責任ト創意トヲ活用シ其ノ積極的對日協
 力ノ實ヲ具現セシム

三 對重慶方策

(イ) 帝國ハ重慶ニ對シ之ヲ對手トスル一切ノ和平工作ヲ行ハス

外務省

0157

S 1.1.1.0 - 27 2616

昨年十二月八日友邦日本大東亞戰爭ヲ發動シ我國國民政府同甘共
 苦ノ聲明ヲ發表シテ以來兆銘ハ如何ニシテ大東亞戰爭ニ協力シ中
 國ノ責任ヲ盡スベキカニ付詳思熟慮スル所アリタルガ中國連年ノ
 疲弊ニ加フルニ全面和平未ダ實現セザル爲メ協力ノ誠意アルモ微
 カニシテ貢獻スルコト能ハサルヲ痛感シ今年元旦新國民運動ヲ發
 起シ新シキ精神ヲ以テ新ラシキ時代ノ使命ヲ荷ハンムル趣旨ノ下
 ニ精神總動員ヲ展開セリ中國ハ百年以來具ニ英米帝國主義ノ壓迫
 ヲ受ケ一部ノ人ハ其ノ政策ニ醜醉スル所トナリ二十餘年來ハ更ニ
 共產主義ノ猖獗スルアリ此ノ二種ノ害毒ハ政治、經濟、文化ノ一
 切ニ浸潤シ居レリ今日ノ急務ハ心理上徹底的ニ之ヲ改造スルヨリ

外務省

S 1.1.1.0 - 27

2618

(0159

狀勢變化シ和平工作ヲ行ハムトスル場合ハ別ニ之ヲ決定ス
 (四) 國民政府ヲシテ右帝國ノ態度ニ順應セシム
 四 戰略方策
 帝國ノ對支戰略方策ハ既定方針ニ據ル

外務省

S 1.1.1.0 - 27

2617

(0153

大ナルハ無シ其ノ着手ノ方法トシテハ我國民父孫先生ノ大亞洲主義ニ瞻リ以テ友邦日本ノ東亞新秩序建設ノ「スローガン」ニ呼應シ東洋ノ道義的觀念ニ基キ中日共存共榮カ吾人前途ノ光明アル目標ナルコトヲ確信シ勇猛精進刻苦忍耐ノ精神ヲ以テ之ニ赴カシムルニ在リ即チ消極的方面ニ於テハ英米ノ帝國主義及共產主義ノ流毒ヲ肅清シ積極的方面ニ於テハ東亞民族精誠團結ノ基礎ヲ樹立スルニ在リ今年元旦以來種々ノ宣傳訓練方法ヲ用ヒテ社會ノ人心ヲ積極的ニ推進シ殊ニ在學中ノ青少年及勤勞青少年方面ニ對シテハ新國民運動綱領ヲ頒布シ青少年團ノ基礎的條條ヲ明瞭ニシ中央陸軍軍官學校ニ於テハ更ニ學生ヲシテ中國ノ解放ハ大東亞戰爭勝利中ニ於テ之ヲ求ムベキモノニシテ寸毫モ躊躇スルコトナキ中華復

外務省

S 1.1.1.0 - 27

2619

0160

興、東亞保衛ノ責任ヲ双肩ニ荷フベキ旨ヲ明ニセシムルニ意ヲ注キ更ニ右訓練ヲシテ一般軍隊中ニ迅速ニ普及セシムル爲メ首都ニ中央陸軍將校訓練團ヲ設置シテ全國ノ軍官ヲ召集シ期ヲ分チテ順次訓練ヲ受ケシメ將校隊ト幹部總隊トニ分チ將校隊ハ中將以下大佐迄訓練期間ヲ一ヶ月トシ幹部總隊ハ中佐以下少尉マテ訓練期間ニ於テハ必要ナル軍事學科ヲ授クル外殊ニ精神訓練ニ注意シ大東亞戰爭協力ノ趣旨ヲ徹底セシムルニ努メツツアリ而シテ右精神訓練ハ兆銘親シク自ラ之ニ當リ毎週必ず往テ講述シ且ツ隨時其ノ疑義ヲ考察シ其ノ疑問ヲ解釋シツツアルガ斯クノ如キ長期ノ訓練ヲ經テ一般社會特ニ一般學生及軍人ハ大東亞戰爭協力ノ主旨ニ對シ相當ノ認識ト信念ヲ深メ之ヲ大東亞戰爭効力ノ當

外務省

S 1.1.1.0 - 27

2620

0161

初ニ較ブレバ薩カニ相當ノ進歩アリト確信スルモノナリ

外務省

S 1.1.1.0 - 27

2621

C 0162

兆銘亦曾ヲ深ク念フニ建軍ハ至ツテ復雜多端ニシテ短期間ノ能ク
完成スル所ニ非ズ故ニ同時ニ幹部同志ト彈思竭慮重慶開ツシテ清
ラシメンコトヲ期セリ若シ彼等ニシテ反省シ毅然トシテ其ノ態度
ヲ改ムルニ於テハ兆銘等必ズ誠意ヲ以テ之ト提携合作シ全面和平
ヲ實現シ中國ノ大東亞戰爭協力ノ刀亦増加スベキヲ期待セリ余何
セン學志ト雖ヒ蔣介石等ハ昔ニ臺モ借ルトコロナキノミナフス益
々深クニ暗リ英米等ノ諸國ト單獨不辭和ノ協定ヲ締結シテヨリ後
ハ一層轉換ノ途ノ險地赫キニ至レリ兆銘等絶望ノ餘地等處地ノ運
進ニ對シテハ誠告スルモ效果ナク且ツ英米ノ重慶援助ハ「ビルマ
ルート」ノ閉鎖ニ依リ絶ニルコトナク傾キノ救済方法ヲ講ジ其ノ
勾結ノ手段亦日ト俱ニ深キヲ知ル兆銘等ハ國民政府ハ此際事口其

外務省

S 1.1.1.0 - 27

2622

C 0163

ノ決心ト立場トヲ表明シ一切ノ人力物力ヲ動員シテ大東亞戰爭ニ
參加シテコソ始メテ能ク和平地區内ノ民衆ヲシテ旋戦ヲ鮮明ニシ
武伐ヲ整齊シ東亞ノ同志敵愾同仇ノ戦線ニ立タシメ同時ニ和平地
區外ノ民衆ヲシテ漸次其ノ東亞ノ叛逆タルコトヲ自覺セシメ内部
的崩潰ヲ促進スルコトヲ得ヘシ是レ國民政府カ尙甘共苦ヨリ一步
ヲ進メテ參戰ノ決意ヲ主張スル所以ナリ
若シ參戰實現センカ國民政府トシテ軍事方面ニ力ヲ致スヘキモノ
ハ第一ニ現在ノ軍隊ニ對シ出來得ル限りノ整理訓練ヲ施シ能ク和
平地區内ノ治安ヲ保障シ友邦駐屯軍ノ負擔ノ軽減ヲ期スルニアリ
第二ニ現在ノ軍隊ノ内其ノ比較的優秀ナルモノヲ擇ヒテ改メテ精
拔配備ヲ行ヒ之ヲ前線ニ派遣シテ非ク友邦將士ノ辛勞ヲ甘クシ

外務省

S 1.1.1.0 - 27

2623

0164

トヲ期スヘシ同時ニ國內ニ於テハ大東亞戰爭ニ對スル戰意ハ之カ
爲メ益々昂揚セラレ貴我兩國カ安危ヲ共ニシ生死ヲ同フスルノ熱
情ト決意トハ之ニ依リ益々普遍的且ツ鞏固トナルヘシ

外務省

S 1.1.1.0 - 27

2624

0165

經濟方面ニ於テモ軍事ト同様大東亞戰爭中ニ於テ不斷ニ増強ヲ圖
リ益々大東亞戰爭ニ裨益スル所アラシメントスルモノユシテ増強
ノ方法トシテハ第一ニ生産増加ナルガ農民ノ耕作ニ依リ得ル所ハ
生活ヲ維持スルヲ除クノ外再生産ノ能力ヲ發揮セシメ又各種ノ工
場ヲ恢復シ燃料ト原料トヲ供給シ各種ノ企業ヲシテ各種ノ手工
品ヲ製造セシメントスルニアリ是レ實ニ和平地區内繁榮ノ重要條
件ナルノミナラズ非和平地區内物資ヲ吸收スル上ニ於テモ亦重要
ナル作用ヲ爲スモノナリ第二ハ消費節約ナルガ務メテ人民ヲシテ
減収奉公ノ念ヲ以テ其ノ需用ヲ節約シ其ノ餘事ヲ擴充セシムルニ
アリ第三ハ合理的統制方法ヲ以テ分配ヲ平均ニシ物價ヲ安定セシ
メ國計民生何レモ底盤ヲ堅固ニ固ルコトナカラスシムルニアリ以上

外務省

0166

2625

S 1.1.1.0 - 27

之者ヲ能ク爲シ得レバ中國ノ經濟力ハ立ロニ増強トナリ必ズ其
ノ得ル所ヲ以テ數々之ヲ大東亞戰爭ノ用ニ供スルヲ得ベシ其
本ハ實ニ中國ニ對シ戰費賠償ノ要求ヲ爲サズ中國人民ハ深ク感戴
シ居ル所ナルモ唯全面和平尙未ダ實現セザル爲メ重要條約ハ遂ニ日
本ハ戰ヲ以テ戰ヲ避フモノナリトノ要請セル宣傳ヲ試ミ中傷敵國
ノ計ヲ爲シツツアリ今若シ參戰ヲ實行スレバ中國人民ハ其ノ生産
ニ依リ得ル所ノ又ハ節約ニ依リ輸入ノ物資ハ之ヲ大東亞戰爭ノ
用ニ充ツベキモノナルコトヲ知ルユ至ルベク其外ニ對シテハ戰費
ノ分擔トナリ自己ニ對シテハ益々大東亞戰爭完遂ノ一部分ノ責任
ヲ盡スコトトナリ一層積極奮闘シテ内ハ以テ東亞同志ノ氣ヲ壯ト
シ外ハ以テ東亞戰線ノ口ヲ雄々其ノ聲ヲ發カラスシムルニ至ルベク

外務省

0167

2626

S 1.1.1.0 - 27

其ノ效果ノ大ナル軍事ト同ジク或ハ之ニ過グルモノアルベシ
 以上ハ是等ノ参戦問題ニ對スル見解ト決心ナリ尙最後ニ一言附加
 スベキコトアリ中國國內ニ於テ参戦問題ニ論及スル際一部ノ者ハ
 中國ノ經濟及軍事ハ或ハ之ニ因リ一層其ノ自主性ト獨立性トヲ失
 フニ非ズヤト憂慮スルヲ免レズ是等思フニ参戦以後兩國ノ緊密ナ
 ル提携ハ更ニ一歩ヲ進メ中國ノ中央政府機構亦調整ヲ加ヘ中央ノ
 各地方政府ニ對スル統制力亦強化シ戰時體制ニ適合セシムベキヲ
 以テ友邦日本ノ中國進出ヲ尊重スルコトト中國ガ虚心體面ニ友邦
 日本ト協力スルコトトハ必ズヤ双方其ノ宜シキヲ得ルニ運ルベキ
 ヲ信ズ吾人ハ大東亞戰爭ノ完遂ハ貴我兩國ノ共同出路タルコトヲ
 確信シ此種純潔ナル熱誠ニ基キカテ進シテ以テ是キ死ヲ嘗ツテ聞

外務省

0163

S 1.1.1.0 - 27

2627

ヲズ以テ我國國父孫先生ノ遺示セル大東亞主義ガ大ニ光輝ヲ放ツ
 日ノアランコトヲ期スルソシナリ

外務省

0169

S 1.1.1.0 - 27

2628

昭和十一年三月二日

東條總理大臣ノ汪行政院長ニ對スル談話要領

東條總理大臣ノ汪行政院長ニ對スル談話要領概ネ左ノ如シ

一 國民政府參戰ニ就テ

(イ) 帝國ハ國民政府ノ希望ニ應シ同政府ノ米英ニ對スル宣戰ニ同意ス

(ロ) 宣戰ノ時機ハ諸般ノ準備ノ都合モアリ我方トシテハ概ネ明年一月中旬以降適當ナル時機ヲ捉ヘラルルコトヲ希望スル次第ニシテ具體的期日ニ付テハ追テ在華帝國大使ヲシテ相手ト連絡セシムルコトト致度シ

(ハ) 參戰ニ伴フ諸準備ハ日華双方共ニ絕對極秘裡ニ行フコトト致

外務省

S 1.1.1.0 - 27

2629

0170

度シ

三 戰爭協力ニ就テ

國民政府參戰ニ依リ米英ニ對スル戰爭ハ完全ニ日華共同ノ戰爭トナル次第ナルカ日華兩國ハ愈々不動ノ決意ト信念トヲ以テ共同戰爭完遂ノ爲完全ニ協力スルコトト致度國民政府ニ於テハ特ニ戰爭遂行ノ爲必要トスル生産ノ増強、戰爭目的ニ關スル官民認識ノ普及、治安維持ノ強化等ノ確實ナル具現ヲ圖リ戰爭協力ニ徹底遺憾ナカラシメラレンコトヲ切ニ希望ス

三 國民政府政治力強化ニ就テ

帝國ハ國民政府ノ政治力強化ニ付極力援助ヲ與フルノ熱意ヲ有ス就テハ帝國トシテハ中國ニ於ケル租界、治外法權其ノ他特異

外務省

S 1.1.1.0 - 27

2630

0171

諸事態ハ中國ノ主權及領土尊重ノ趣旨ニ基キ速ニ之カ撤廢乃至
調整ヲ圖ルノミナラス敵産處理ニ明シテモ出來得ル限り中國側
ニ對シ好意的措置ヲ講シ又從來ノ諸懸案等モ爲シ得ル限り速ニ
解決ヲ圖ルノ用意アリ
國民政府ニ於テモ各般ニ亘リ自勝ノ途ヲ講シ廣ク民心ヲ獲得シ
官民一體戰爭協力ニ邁進セラレンコトヲ希望ス
四對重慶方策ニ就テ
帝國ハ重慶ニ對シ之ヲ對手トスル一切ノ和平工作ハ之ヲ行ハサ
ル方針ナリ國民政府ニ於テモ右帝國ノ態度ト同調セラレンコト
ヲ希望ス

五結語

外務省

S 1.1.1.0 - 27

2631

(0172

以上ノ趣旨ノ細部ニ付テハ追テ在華帝國大使ヲシテ暫方ト充分
連絡協議セシムヘキモ要スルニ國民政府參戰ヲ以テ日華間局而
打開ノ一大轉機トシ速ニ日華提携ノ根本精神ニ則ル施策ノ結實
ヲ圖リ眞ニ日華一體トナリ共同戰爭完遂ニ邁進スルコトト致度

外務省

S 1.1.1.0 - 27

2632

(0173

大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支新國策ニ關スル宣傳
及指導方針(案)

第一、方針

一、國民政府參戰ヲ以テ日支間局面打開ノ一大轉機トシ專ラ國民
政府ノ政治力ヲ強化スルト共ニ重慶抗日ノ根據名目ノ覆滅ヲ
圖リ眞ニ更新支那ト一體戰爭完遂ニ邁進スルノ帝國國策ニ即
應シ

(一)更新支那ノ對日戰爭協力ノ促進

(二)國民政府政治力ノ強化

(三)重慶抗日根據ノ覆滅

ヲ目標トシ併セテ大東亞諸民族ノ對日信賴感ノ誘發ヲ期シ官

外務省

0174

S 1.1.1.0 - 27 2544

傳ヲ強化ス

三、國民ノ間ニ前記帝國國策ノ趣旨ヲ徹底セシムル様國論ヲ指導
ス

第二、要領

一、國民政府ノ參戰ハ帝國ノ總體セルモノニ非スシテ、中國國民ノ
總意ニ出テタルモノナルコトヲ闡明ス
之カ爲特ニ參戰前ニ於テ

イ、支那側ヲシテ參戰ニ對スル民意ヲ統一セシメ、參戰原望氣

運ヲ醒醒スル如ク輿論指導ヲ實施セシム

ロ、我方ニ於テハ積極的宣傳ヲ避ク

今後當分ノ間從來通り參戰ヲ暗示スルカ如キ記事ハ之ヲ禁

外務省

S 1.1.1.0 - 27 2545

0175

止メ參戰間近ニ至リ支那御宣傳ヲ承ケタル受動的報道ニ止
ム

ニ米英ノ桎梏ヲ脱シ新中國ヲ建設スル爲ニハ日本ト同甘共苦戰
争ヲ完遂スル外途ナキコトヲ支那御ヲシテ認識セシムル如ク
宣傳ス

三國民政府ノ政治力強化助成ノ爲帝國ノ執ルヘキ諸方策ノ實施
ニ伴ヒ帝國ノ公正ナル態度ヲ闡明シ、特ニ中國民衆ヲシテ、
帝國ノ日支提携ニ對スル誠意ヲ信賴セシムル如ク宣傳ス

四重慶側抗日ハ日支提携ノ根本精神ニ則ル兩國新關係ノ展開ニ
依リ、其ノ根據名目ナカリシコト愈々明白トナリタルコトヲ
宣傳ス

外務省

S 1.1.1.0 - 27

2546

0176

五帝國ノ米英ニ對スル政戰兩略ノ必勝不敗ノ態勢ヲ特ニ重慶側
ニ對シ強調宣傳ス

六、大東亞諸民族ニ對シ今次對支措置ニ於テ實證セラレタル大東
亞建設ニ對スル帝國ノ誠意ヲ認識セシムルト共ニ米英ノ壓迫
下ニ在ル其ノ他諸民族ヲシテ帝國ノ眞意ヲ認識セシメ蓋テ其
ノ反米英意識ノ覺醒昂揚ノ效果ヲ擧クルニ努ム

七、支那御宣傳モ亦前記我方施策ニ呼應セシム

八、國民ノ間ニ今次對支措置ハ區々タル權益等ニ拘泥スルコトナ
ク大乗的ニ日支局面ヲ打開シ眞ニ更新支那ト一體トナリ米英
ニ對スル共同戦争ヲ完遂スル爲必要ナル積極的措置ニシテ特
ニ綜合戦力ヲ積極的ニ増強セントスルモノナルコトヲ徹底ス

外務省

S 1.1.1.0 - 27

2547

0177

ルト共ニ支那トシテ今後愈々同甘共苦ニ徹スルノ要アルハ固
ヨリナルモ反而我方トシテ殊更經濟援助等ノ責任ヲ回避スル
モノニアラサルコトヲ明白ナラシム

九本件實施ニ當リテハ關係各機關（取締機關ヲ含ム）ノ思想統一
ヲ計ルト共ニ相互ニ緊密ナル連絡ヲ遂ケ實效ヲ擧クルニ清懷
ナキヲ期ス

外務省

8 1.1.1.0 - 27

2548

0173

國民政府參戰ニ關スル宣傳要綱

(連發會議提出資料)

一、宣傳ニ關スル擔任區分ヲ別紙ノ如クス

二、對象別宣傳方針左ノ如シ

(一) 國內輿論指導ニ方リテハ

(1) 帝國カ國民政府ノ參戰ヲ承認セルハ不法ナル米英ヲ牽連シ
眞ニ坐視坐視ヲ解散セントスル熱烈ナル該政府ノ熱情ニ助力
サレタルモノニシテ決言スレバ技ガ戰争目的對支眞實、確
切必勝ガ支極國民衆ニ浸透セル證左タルコトヲ強調ス

(2) 支那ガ米英ノ屬屬買上ニ分セラルルニ至リタルハ帝國ノ威
モ威嚇トスル處ニシテ直覺國民衆ニ對シテハ深中同情ヲ好

外務省

8 1.1.1.0 - 27

2549

0173

スルト共ニ速ニ統一支那ノ實現スルヲ希望スルコト

(一) 國民政府及其ノ治下民衆ニ對シテハ

(二) 國民政府ニ對シテハ參戰ノ實ヲ舉ゲシムルヲ王眼トシ苟モ
國權回復ノ氣運ヲ醸成セザル如ク留置ス

(三) 民衆ニ對シテハ帝國トシテハ權輔必悉ヲ深刻ニ印象セシム
ルヲ主トシ且國民政府ヲシテ民衆生活ノ進退ハ不共打倒ノ
爲ノ光輝アル勞苦ナルコト及日本ト同生共死スル以外ニ道
ナキ諦觀ヲ與ヘシムル如ク指導ス

(四) 重要ニ對シテハ

抗日ノ根據名目ヲ喪失セシメ民衆ノ離反ヲ促進シ且米英トノ
離間ヲモ圖ル

S 1.1.1.0 - 27 2550

C 0183

外務省

(四) 對共榮國內諸民族及對外一般ニハ

國民政府ノ參戰ハ今次戰爭ニ於ケル大義名分ガ日本及權輔諸
邦國ニアリ且米英必敗ヲ確信セル證據ナルコトヲ強調ス

指導ニ着意スベキ事項

(一) 輿論ノ指導ハ一元的強刀ニ行ヒ個人的意見ノ散漫ヲ阻止ス

(二) 國民政府宣傳機關或ハ在野ノ支那要人ヲ利用スルコトニ依リ
テ宣傳ヲ日本製ノ押シ賣リ宣傳ヲ行ハサル如クス

(三) 宣傳ノ根柢ハ實情ニアルコトヲ帝國軍民ニ徹底セシム

(四) 我方方ニ未ダ和平交渉ノ意圖アルガ如キ出来ヲ豫備ニ與ヘ
ザルコトニ留意ス

S 1.1.1.0 - 27 2551

C 0181

外務省

對内外宣傳ニ關スル擔任區分ノ件

- 一、對内外宣傳ニ關スル基本的企畫、資料ノ收集、内地ニ於ケル宣傳機關ノ統一協力ニ關シテハ情報局中心トナリテ之ヲ行フ
- 二、宣傳實施ニ關スル擔任區分ヲ左ノ如ク定ム
 - (1) 對内宣傳及内地ヨリスル對外宣傳ノ實施ハ關係官廳ノ協力ノ下ニ情報局長トシテ之ヲ擔任ス
 - (2) 大東亞地域内ニ於テ(當分南方占領地ヲ除ク)該地域ニ對スル宣傳及大東亞地域内(内地及南方占領地ヲ除ク)ヨリスル對外宣傳ノ實施ハ現地陸海軍ノ積極的協力ノ下ニ大東亞省現地機關之ヲ擔任ス
 - (3) 南方占領地域内ニ於テ該地域ニ對スル宣傳及該地域ヨリスル

外務省

S 1.1.1.0 - 27 2552

0182

對外宣傳ノ實施ハ當分現地陸海軍之ヲ擔任ス

- 三、軍事ニ關スル宣傳及印度、濠洲ニ對スル謀略宣傳ハ關係官廳協力ノ下ニ陸海軍夫々之ヲ擔任ス
- 四、國民政府(滿洲國、蒙、那印)ノ宣傳機關ニ對スル指導ハ現地陸海軍協力ノ下ニ大東亞省現地機關之ヲ擔任ス

外務省

S 1.1.1.0 - 27 2553

0183

御前會議議趣「大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理
根本方針」ニ依リ内閣總理大臣提案理由説明

之ヨリ會議ヲ開キマス。御許シテ得タルニ依リマシテ本日ノ議事
ノ進行ハ私カ之ニ當リマス

議ミテ大本營陸海軍部及政府ヲ代表致シ議趣「大東亞戰爭完遂ノ
爲ノ對支處理根本方針」ノ提案理由ヲ御説明申上ケマス。

本案ハ大東亞戰爭發生後現下ノ新事態ノ下ニ於テ大東亞戰爭完遂
ノ爲帝國トシテ執ルヘキ對支處理根本方針ヲ定メントスルモノナ
リ。御座イマス。議ニ御前會議ニ於テ決定セラレマシタル「支那事變處
理根本方針」(昭和十三年一月十一日)、「日支新關係調整方針
(昭和十三年十一月三十日)及「支那事變處理要綱」(昭和十五

外務省

S 1.1.1.0 - 27

2554

0134

年十一月十三日)ハ執レモ大東亞戰爭發生前ノ事態ノ下ニ於テ作
成セラレタルモノテアリマス。ルノテ本案ハ右ノ諸決定トハ考案ノ
事情ヲ著シク異ニスル次第ヲ御座イマス

接シマス。ルニ大東亞戰爭發生前ニ於キマシテハ帝國ハ對支處理ニ
當リ成ルヘク米英トノ衝突ヲ避ケ出來得ハクシテハ米英ヲモ利導シ
事變解決ニ資センメントノ考慮カアリマシタルノ半面ニ於テ支那
ニ於テ米英ノ跳梁ヲ現存セシメツ事變處理ノ方途ヲ講セサルヲ
得サル事情ニ置カレテ居リマシタル關係モアリ自然事變處理方策
ニ付テモ今日トハ異ナツタ考慮ヲ用ヒサルヲ得ナカツタ次第ヲ御
座イマス

然ルニ大東亞戰爭發生後ノ今日ニ於キマシテハ事情ハ激變致シ帝

外務省

S 1.1.1.0 - 27

2555

0135

國ノ對英處理ハ對米英戰爭遂行トノ關係及現段階ニ於ケル支那ノ
華僑具ノ他諸般ノ情勢ニ鑑ミ新ナル構想ヲ加フルヲ必要トスルニ
至ツタ次第ヲ御座イマス
畏クモ米英ニ對スル宣戰ノ大詔ヲ拜シマシテヨリ茲ニ一年有餘其
ノ間内外ノ情勢殊ニ重慶ノ動向、更新支那ノ華僑、世界情勢全般
ノ推移等ヨリ積ヘ對支處理ニ懸シテハ帝國ハ速ニ日支提携ノ根本
精神ニ則リ專ラ國民政府ノ政治力ヲ強化スルト共ニ重慶抗日ノ限
微名目ノ覆滅ヲ圖リ更新支那ト一掃戰爭完遂ニ邁進シ成ルヘク速
ナル時機ニ於テ對支全面的處理ノ機地ヲ確立シ對米英戰爭遂行ニ
專念シ得ルニ至ル事態ノ造成ニ努ムルコトカ今日國家ノ急務ト考
ヘラレマス

外務省

B 1.1.1.0 - 27 2556

0186

斯ル見解ノ下ニ大本營陸海軍部及政府協同シテ「大東亞戰爭完遂
ノ爲ノ對支處理根本方針」ヲ作成シ茲ニ提案致ス次第ヲ御座イマ
ス
議題ニ付キマシテハ大東亞大臣、外務大臣及大本營陸海軍部ヲ代
表シテ參謀總長ヨリ夫々説明ヲ致シマスカ先ツ議題ヲ明瞭致サレ
マス

外務省

B 1.1.1.0 - 27 2557

0187

内閣總理大臣

全閣本議案ニ完全ナル意見ノ一致ヲ見タルモノト認メマス
最後ニ大本營陸海軍部及政府ヲ代表シテ私ヨリ一言申上ケマス
帝國ハ大東亞戰爭完遂ノ爲今後本根本方針ニ則リマシテ中央現地
一貫セル對支諸施策ノ徹底具現ヲ圖リタイト存シマス特ニ現地ニ
於キマシテハ皇軍ノ嚴乎タル威容カ本施策完遂ノ根基タルヲ思ヒ
マシテ軍ハ具本然ノ戰略方策ニ専念シ政府現地機關モ亦其戰略任
務完遂ニ一途邁進シ而モ相互ノ聯繫ヲ密ニシテ一糸亂レズ本根本
方針ニ基ク諸施策ノ敏捷且適備ナル結實ヲ圖リ度ニ更新支部ト一
體ト爲ツテ大東亞戰爭ヲ完遂シ以テ大國ニ列ヒ舞ランコトヲ期シタイト
存シマス
之ヲ以テ本日ノ會議ヲ終リマス

外務省

0188

B 1.1.1.0 - 27

2558

御前會議議案「大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理
根本方針」ニ關スル外務大臣説明

議ミテ本方針ニ基ク諸方策實施ニ關聯致シマスル第三國關係ニ就
キマシテ御説明申上マス

帝國外交ノ立場ヨリ見マシテ今回ノ諸施策ハ萬邦ヲシテ各其所ヲ
得シメントスル帝國對外國策ノ根本精神ニ合致スル所ヲ御座イマ
シテ之ニ依ル帝國ノ公認ナル態度ノ闡明ハ大東亞地域内ノ諸民族
ヲ初メ印度其ノ他米英ノ壓迫ニ悩メル諸民族ニ對シ相當ノ考慮前
影響ヲ及ボスモノト思考致ス次第ヲ御座イマス尤モ帝國關係ニ於キ
マシテハ國民政府ノ對戰竝ニ帝國ノ諸持論ニ就テ種々ナル懸念
ヲ爲ス、シト豫想セラルルノテ御座イマスルカ之ニ對シ帝國ト致

外務省

0189

B 1.1.1.0 - 27

2559

シマシテハ國民政府ニ協力シテ其ノ參戰ノ名分ヲ世界ニ闡明シ且
帝國ノ公明ナル態度ヲ廣ク内外ニ徹底セシムルニ努メマシテ其ノ
對外的効果ヲ收メルコトニ努力致シ度イ所存テ御座イマス
他方支那ノ參戰ハ第三國トノ間ニ種々ナル關係ヲ生スルノヲ御座
イマス即チ敵國ニ與シテハ其ノ現支諸權利ヲ消滅セシメ支那ノ自
主的地位ヲ恢復スルコトトナリマスルシ御伊等ノ友邦トハ共同ノ
敵ニ對スル戰爭完遂ニ寄與スル次第デアリマス又中立國ニ對シテ
ハ支那ノ異常ナル決意ヲ示ス機會ヲ得マシテ之等ノ關係ト帝國ノ
公正ナル措置ト相俟ツテ國民政府ノ國際的地位ヲ固ムル上ニ資ス
ル所少ナカラスト存スルノヲ御座イマス
其ノ間帝國ニ於キマシテハ獨逸、伊太利、佛蘭西其ノ他中立諸國

外務省

S 1.1.1.0 - 27 2560

C 0190

ニ對シマシテ帝國ノ公明ナル態度ニ願應スル様誘導スルコト必要
ナリト思考致シマスルカ具体的ナル問題例ハ佛蘭西、伊太利等ノ
在支租界ヲ國政府ニ返還方ヲ斡旋スルカ如キ問題ニ就キマシテ
ハ相當ノ困難ヲ豫想致サレルノヲ御座イマス帝國ト致シマシテハ
之等諸國トノ友好關係ヲ充分ニ考慮致シマシテ帝國ノ對外諸施策
ノ全般ト相應シテ便宜ノ措置ヲ講シ以テ目的ノ達成ニ努力致シ度
キ所存テ御座イマス
以上ヲ以テ私ノ説明ヲ終リマス

外務省

S 1.1.1.0 - 27 2561

0191

御前會議議題「大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理根本方針」ニ關スル大東亞大臣說明

講ニテ本集中第一方針並ニ第二、第三、第四、第五及第六ノ(一)ニ付キマシテ御說明申上ケマス

一、本策第一、方針ニ關シ

總理大臣ノ述ヘラレマシタルガ理由ニ基キ今日大東亞戰爭完遂ノ爲帝國ノ採ルヘキ對支處理方針トシテ最モ肝要ナルコトハ

〔國民政府參戰ヲ以テ日支間局面打開ノ一大轉機トシ日支提携ノ●根本精神ニ則キ專ラ國民政府ノ政治力ヲ強化スルト共ニ重慶抗日ノ根據名目ノ覆滅ヲ圖リ復ニ更新支那ト一體戰爭完遂ニ邁進スルコト及〔世界戰局ノ推移ト脱合ニ米英即反紅ノ最高潮

外務省

8 1.1.1.0 - 27 2562

0192

ニ達スルニ先キ右ニ基キ對支處理ノ結實ヲ圖ルコトニ存スルト存セラレマス

仍テ右趣旨ヲ本策ノ方針ト致シマシテ夫等ヲ御座リマス

右方針ニ依リ對支諸施策ノ實領ハ本策第二ニ掲ケテ居リマス

又右方針ニハ時機的ノ關係ニ於ケル帝國トシテノ努力目標ヲ示シタモノヲ御座リマス

二、日華戰爭協力ニ關シ

帝國ハ更新支那ト一體戰爭完遂ニ邁進スル旨ノコトハ右ノ通本策方針ニ明示スル所ヲ御座リマスガ之力爲ニハ國民政府參戰ヲ援トシ同政府トノ間ニ「米英ニ對スル共同ノ戰爭ヲ完遂スル爲日華兩國ハ不動ノ決意ト信念トヲ以テ軍兵ニ鼓舞ト徑キヒ言

外務省

8 1.1.1.0 - 27 2563

0193

全ナル協力ヲ爲ス」モノナルニ其本的取極ヲ締結スルコトカ
必要ナラント考ヘマスト共ニ國民政府ヲシテ各般ニ且自強ノ
途ヲ講セシメ廣ク民心ヲ獲得シ特ニ戰爭完遂ニ必要ナル生産ノ
増強、戰爭目的ニ對スル官民認識ノ普及並ニ治安維持ノ強化等
ノ確實ナル具現ヲ圖リ戰爭協力ニ徹底遺憾ナカラシムルコトカ
必要ナラント存スル次第ヲ御座リマス

外務省

S 1.1.1.0 - 27 2564

0194

三本案第二要領一、國民政府ノ以力強化ニ關シ本案第二要領一ノ
(イ)(ロ)(三)(四)ニ掲ケテ居リマス所ハ國民政府政治力強化トシテ
特ニ主權ナルモノニ付其ノ要旨ヲ示ス趣旨ヲ御座リマス
(イ)項説明 國民政府ハ誕生以來日尙未々成熟ノ域ニ達スル
ニ至リテ居リマスノテ之力健全ナル育成ノ爲ニハ尙帝國ノ支
援ト好意的誘掖ヲ必要トスルコトハ當然チアリスルケレトモ
眞ノ支援誘掖ノ範圍ヲ逸脱シテ干涉ノ弊ニ陥ルカ如キコトカア
リマスヲハ獨立政府トシテノ權威ト自尊心トヲ傷ケ其ノ副意ト
責任感トヲ殺スコトトナリ其ノ結果ハ同政府ノ政治力ノ強化ヲ
妨グルコトトナルハ勿論政府ノ存立ソノ爲メノ意義ヲ減却スル
ノ結果トナルノ虞カアリスノテ帝國ハ國民政府ニ對シ勉メテ

外務省

S 1.1.1.0 - 27 2565

0195

干涉ヲ避ケ權力其ノ自發的活ムヲ促進スルコトカ國民政府ノ政治力強化上極メテ緊要事ト認メ之ヲ本案第三要領一ノ(4)項ニ掲ケマシタル次條ヲ御座リマス

(4)項說明 本案第三要領一ノ(4)項ニ掲ケマシタル地方的特殊性ノ調整及國民政府ノ地方政府ニ對スル指導強化ニ關シマシテハ之カ實行ニ當リ支那御中央地方相互間ニ無用ノ摩擦、感情的相剋ナカラスムルノミナラス進チ融和的 國氣ヲ醸成セシメ中央地方共ニ更新支那ノ構成分子トシテ協心戮力戰爭完遂ニ邁進セシムルト共ニ帝國トシテハ差違リ日華基本條約及附屬諸取極ニ反セサル範圍ニ於テ(3)省政府以下ノ各地方政府人事ニ關シテハ支那御ノ自由處置ニ任シ日本御ハ之ニ干涉セサルコト(4)省政府

外務省

8 1.1.1.0 - 27 2566 0196 012

以下ノ施政ニ關スル日本御ノ指導乃至要求ハ作戰準備ニ限定スルヲ本則トシ爾他ノ行政部面ニアリテハ廣ク支那御ニ任セ支那御ノ責任ト創意トヲ活用シ其ノ自發的活動ニ依リ政治力強化及積極的對日協力ヲ促進スルコト(4)日本御ハ支那御上級政府ノ下級政府ニ對スル政令ノ貫徹ヲ助長スルモノトシ末梢ニ於ケル干涉ニ依リ支那御施政ノ中絶分斷スルカ如キコトナカラスムルコト(4)華北政務委員會ト中央政府トノ權限關係ニ付テハ日華基本條約附屬秘密交換公文(甲)ニ基キ所與ノ調整整理ヲ圖ラシムルヲ共ニ勉メテ兩者間ノ空氣ヲ融和セシメ且相互ノ經濟的調和性ヲ一層密カラスムルコト(5)蒙疆ニ關シテハ華北トノ間ニ相互ノ經濟的調和性ヲ特ニ密カラスムルコト(6)武漢及廈門ニ關シテ

外務省

8 1.1.1.0 - 27 2567 0197

ハ廣東ニ準シ爲シ得ル限、國民政府ノ政治力ヲ滲透セシムルコト(7)海南島ニ關シテハ現状ニヒト日華基本條約秘密交換公文(甲)ヲ斟酌シ所要ノ調整ヲ行フコトカ必要ヲアルト考ヘテ居リマス

(六)項說明 本案第三要領二ノ(六)項中ノ租界ニ關シマシテハ帝國ノ專管租界即チ天津、杭州、蘇州、漢口、沙市、重慶、廈門、福州ノ日本租界ヲ支那即ニ滿付スル爲又上海及廈門ノ共同租界ヲ支那即ニ移管スル爲國民政府參戰ヲ機トシ同政府トノ間ニ所要ノ取極ヲ締結スルコトトシテ右專管租界滿付ニ關スル取極ノ實施ニ關シテハ日華兩國政府夫々同數ノ委員ヲ任命シ所要ノ事項ヲ決定セシムルコトトシ又上海及廈門ノ共同租界移管ニ關スル取極ニ於テハ「日本國民政府ハ別ニ協議決定セラルル所ニ

外務省

C 0138

B 1.1.1.0 - 27 2568

從ヒ中華民國國民政府ニ於テ成ルベク速ニ上海共同租界及廈門
共同租界ヲ回收スルコトニ同意スル旨ヲ定メ右兩取極ハ孰レ
之ヲ公表スルコトカ政治的效果ヲ舉グル上ヨリシテ適當デア
ルト存シテ居リマス

本案第一要領ニシテ(一)東中治外法權ノ撤廢ニ關シマシテハ治外法
權撤廢ニ關スル具體案ヲ審議作成セシメ併セテ支那側ノ内地開
放ニ關シ研究セシムル目的ヲ以テ日華專門委員會ヲ設置スル爲
國民政府並ニ戰後トシ國民政府トノ間ニ所要ノ取極ヲ締結シテ
之ヲ公表スルコトトシテ帝國トシテハ治外法權撤廢ノ實行
ハ前記專門委員會ニ於ケル具體案ノ作成ニ伴ヒ漸次之
ヲ實施ニ移シテ全面的撤廢ニ及ブコトトシ先ツ國民

外務省

S 1.1.1.0-27 2569

(0199

政府ニ對スル財政援助ノ目的ヲ以テ課税ニ關スル我方特權ニ付
 速ニ調整ヲ加フル爲專門委員會ヲシテ先ツ課税問題ノ研究ニ當
 ラシムルヲ通常ト考ヘテ居ル次第ヲ御座リマス
 本案第三要領一ノ(ハ)項ニ所謂「其ノ他特異ノ事態」中ニ北京
 公使館區域及日華基本條約附屬議定書第一條ニ所謂「特殊事態」
 卽チ例ヘハ各種留稅機關ニシテ特異ノ状態ニアルモノ及軍管理
 工場等ヲモ含ムモノヲ御座リマスルカ右ノ中北京公使館區域ニ
 付テハ之ヲ支那側ニ移管スル爲國民政府參戰時期トシ同政府ト
 ノ間ニ取極メ締結シテ之ヲ公表スルコトトシ又所謂「特殊事態」
 ニ付テモ支那ノ主權及領土尊重ノ趣旨ニ基キ速ニ之カ撤廢乃至
 調整ヲ圖ルコトカ國民政府ノ政治力強化ト必要ナルト考ヘテ

外務省

0200

S.I.I.D-27 2570

居リマス

尙九龍租借地ノ處理ニ關シマシテハ香港ト併ニ別途之ヲ定ムル
 コトカ適當ト考ヘラレマスノチ其ノ旨ヲ明カニ致シマシタ
 (二)項説明 本案第三要領一ノ(ニ)項ハ國民政府ノ自強方策及戰爭
 協力方策ニ關スルモノヲ御座リマス國民政府ヲシテ各般ニ互ニ
 自ノ途ヲ開キシムルノ必要カアルコトハ申ス迄ニ御座リマス
 例ヘハ人的、精神的及機構的ニ戰時態勢ノ強化ヲ圖ラシムル
 コトカ必要ナルアリ又自ラ其ノ財政ヲ強化スル爲有ラニル方策
 講センノ特ニ同政府治下ノ治安ヲ確立シ經濟力ノ伸張ヲ圖ラシ
 ムルコトカ必要ナルト考ヘマス而シテ帝國ハ右國民政府自強
 方策ニ對シ援助ヲ與フルモノトシテ前記ノ如ク治外法權等ニ

外務省

0201

S.I.I.D-27 2571

泰ク課税ニ關スル我方特權ニ付調整ヲ加フルト共ニ國民政府ノ
關稅、轉口稅及統稅等ノ稅率其ノ他ノ合理的改正並ニ儲備券ノ
價值維持等ニ付所要ノ援助ヲ與フルコトカ必要ナルト考ヘテ
居リマス

國民政府ノ戰爭協力ニ付キヤンシテハ輕ニ申述ヘマシテ適リテ御
座リマス

(A)項說明 本案略ニ要領一ノ(四)ニ於テ將來國民政府ノ充實強化
並ニ其ノ對日協力ノ具現等ニ照應シ適時日華基本條約及附屬諸
取極ニ所要ノ修正ヲ加フルコトヲ考慮スル旨ヲ揭ケマシタル所
以ニ付概略ヲ申トケマスレハ總理大帥ノ本案提案理由說明中ニ
アリマシタル如ク大東亞戰爭發生前ニ於キヤンシテハ帝國ハ支那

外務省

11.1.0-27 2572 0202

ニ於ケル米英ノ跳梁ヲ現存セシメツツ畢竟處理ノ方途ヲ講セザ
ルヲ得サル事情ニ置カレテ居リマシタ關係モアリ之ニ對抗スル
必要ト米英ト苟結スル支那抗日勢力ノ再燃ニ對スル備ヘヲ爲ス
必要等ニ基キ帝國ノ對支要求條件ハ必シモ現下ノ新事態ニ適合
セサル點カアリマスルコトハ否ミ難キ所ト存セサルルノテ御座
リマス然カノミナラス大東亞戰爭發生後ノ今日ニ於キヤンシテハ
帝國最高ノ緊要事ハ米英ニ對シ勝ツニ在リテ支那トノ關係ニ於
キヤンシテ出來得ル限り速ニ此ニ日支一體トナリ戰爭完遂ニ邁進
スルノ態勢ヲ確立スルコトカ緊要ナルト認メラルルノテアリ
マスルカ之カ爲ニハ支那側ニ對シ今後ノ日支關係ニ付光明ヲ與
ヘ實際抗日ノ根據名目ヲ覆滅スルコトカ必要ナルト存セラレ

外務省

11.1.0-27 2573 0203

マヌスル事情ニ鑑ミマシテ必スシテ從來ノ経緯ニ拘泥スルコト
ナク將來適當ナル時機ニ於テ日華基本條約及附屬諸取極ニ所要
ノ修正ヲ加フルコトヲ考慮スルコトカ適當ナルト存セラルル
次期テ御座リマス尤モ如何ナル時機ニ於テ如何ナル修正ヲ加フ
ルカニ付キマシテハ慎重ナル考慮ヲ要スル事ト存シマス
尙本案第二要領一ニ掲ケマシタル以外在支敵處理ニ關シマシ
テモ出來得ル限り支那側ニ對シ好意的措置ヲ講シ民心ノ獲得國
民政府ノ政治力強化ニ資スルコトカ適當ナルト存シテ居リマ
ス

外務省

0204

S 1.1.1.0 - 27 2574

四 本案第二要領一ニ經濟施策ニ關シ
(1) 項説明 帝國ノ物的戰力ノ急速ナル増強カ國家常面ノ緊要事
デアリマスル事ハ資育ヲ俟タサル所ヲ御座リマス 而シテ帝
國ノ物的戰力増強上支那方面ニ對スル期待ハ益々緊切ナルモ
ノカアルノデアリマスルニ依リ本案第二要領一ノ(1)項ニ於キ
マシテ常面ノ對支經濟施策ノ重點ヲ明カニ敷シマシテ次第テ
御座リマス即チ常面ノ對支經濟施策ハ戰爭完遂上必要トスル
物資獲得ノ増大ヲ主眼トシ占據地域内ニ於ケル緊要物資ノ重
點的開發取得並ニ地方物資ノ積極的獲得ヲ圖ルコトニ在ル旨
ヲ明示致シマシテ之ヲ實行ノ爲ニハ政府ハ統帥部ト策應シ有
クナル努力ヲ積注スル覺悟ヲ御座リマス尙支那ニ於ケル物資

外務省

0205

S 1.1.1.0 - 27 2575

ノ獲得及統制ニ付キマシテハ物資取得ヲ増大シ併セテ民生ニ
資スル爲物資統制ヲ合理化スルト共ニ物資買上價格ノ公正化
ヲ圖ル必キカアルト考ヘテ居リマス
何項説明 對支經濟政策ノ實行ニ當リテハ日本側ノ獨占ヲ戒
ムルト共ニ支那側官民ノ責任ト創意トヲ活用シ其ノ積極的對
日協力ヲ具現セシムルコトヲ肝要ト認メラレマスルノテ右ノ
趣旨ヲ本案第一要領ニノ何ニ掲ケマシタ次第テ御座リマス支
那側官民ノ積極的ナル經濟活動及對日協力ヲ促進致シマスル
爲ニハ差當リ日支合辦ノ支那法人ヲシテ名實共ニ支那側ノ監
督下ニ置キ其ノ資本、人的構成、免稅特權其ノ他ニ付根本的
調整ヲ加フル外一般物資ノ生産及配給ニ當リテモ日本側ノ獨

外務省

0206

8 1.1.1.0 - 27 2576

占ヲ避ケ支那側ヲシテ參加均等セシムル措置ヲ講スルコトカ
必要テアルト考ヘテ居リマス
國民政府ノ對重慶方策ニ關シ
帝國ノ對重慶方策ニ付キマシテハ本案第一要領ニノ何項ニ掲ケ
テ居リマスルカ國民政府ノ對重慶態度ハ右帝國ノ態度ニ順應セ
シムルコトカ適當ト考ヘラレマスノテ其ノ旨ヲ何ニ掲ケマシタ
次第テ御座リマス國民政府ヲシテ現情勢下ニ於テハ重慶ニ對ス
ル一切ノ和平工作ヲ清算セシメ一意自衛ノ方策ヲ樹立シツツ
ニ日支一體戰爭協力ニ邁進セシムルコトカ參戰ニ伴フ同政府ノ
新ナル使命ニモ繼ミ適居テアルト存セラルル次第テ御座リマス
爾他ノ具體的方策ニ關シ

外務省

0207

8 1.1.1.0 - 27 2577

本案ニ基ク上述以外ノ具体的方策ハ所要ニ應シ別ニ定メテ實行ニ移シテ行クヘキモノト存シマス
本案ノ實行ニ當リマシテハ一方國內人心ノ指導ニ留意致シマス
ルト共ニ他方對外殊ニ對支宣傳戰ヲ活潑ニ展開シ極力政治的勦
果ヲ大ナラシムル如ク施策スルノ要緊切ナルモノアリト考ヘテ
居ル次第テ御座リマス

要スルニ以上本案ノ目的トスル所ハ大東亞戰爭完遂ノ爲日支提
携ノ根本精神ニ則リ國民政府ノ政治力ヲ強化スルト共ニ重慶抗
日ノ根據名目ノ覆滅ヲ圖リ眞ニ更新支那ト一體戰爭完遂ニ邁進
スルコトヲ根本方針トシ之カ爲必要ナル施策ハ必シモ從來ノ經

緯ニ拘泥スルコトナク果敢ニ實行センコトヲ期スルモノデアリ
マシテ深ク今日ノ戰爭遂行ノ要諦ニ基クモノト存スル次第デア
リマス
以上ヲ以テ本案第二ノ(4)項及(4)並ニ對第三國關係以外ノ部
分ノ説明ヲ終リマス

外務省

S 1.1.1.0 - 27 2579

0200

S 1.1.1.0 - 27 2578

0203

REEL No. A-0217

アジア歴史資料センター